

## より良い有田市をめざして ～ 全国青年市長会 ～

2008年6月（16年前）、来る9月の市長選挙に向け、当時36歳の若い市長候補予定者として活動する私のもとに「全国青年市長会長 木下博信 草加市長」から「必勝」の文字の大きな為書きが届きました。この時青年市長会の存在を知り、初当選後の5月に私は自然と入会していました。会員資格は49歳までに当選した市長で、当時は51名の会員数でしたが、現在は109名と倍増しています。この間、それだけ全国で若い市長が増えているということです。そこでは多くの若手市長に出会い、共に本音で研鑽する中で私自身も大きく磨かれたように思います。特に勉強会に社会批評家の金美齢さんをお迎えし、少子化の今、こどもを、命を、生み育むことの尊さをお話いただいた内容は今も心の奥底まで染み渡っていますし、子育て政策の核心が私の中に備わった機会となりました。

また、ある市長さんが私の好きな話ですと前置きし、こんな話をされました。「作家の小林秀雄さんが学生との対話を編集した著書の中で、大学生から、天皇陛下に対する接し方をどうすれば良いかという質問があったのです。

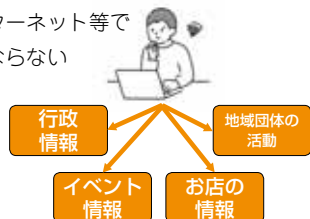
小林さんは直接的な答えはないとしながらも、天皇陛下の宮中祭祀「新嘗祭」のお話をされました。新嘗祭の夜、陛下はたった独りで賢所にお入りになる。そこで何をなさっているかは誰にもわからない。新嘗祭ですから新しいお米を神様にお供えしてお礼を申し上げます。天皇だけが綿々と守ってこられた儀式です。私達も神社に赴きお願い事をしますが、そこでお願ひするのは自分のことや、家族のことなどが多いのではないのでしょうか。天皇陛下は長い時間、賢所で民のために五穀豊穡、国民の幸せをお祈りされていらっしゃるのではないか、そんな存在は本当に特別ですね。もしかしたら、市長という存在も、自分のことではなく広く市民社会の安寧を祈り、日々職務に向き合うという、そんな尊い職務ではないのでしょうか」と挨拶され、私は強く胸を打たれました。

この尊い職務の任期もいよいよ残り約3か月となりました。16年分の想いをしっかりとかみしめながら、最後の日まで引き締めてまいります。有田市長 望月 良男

### 市民ポータルサイト「つながるありだ」をご活用ください！

「つながるありだ」は、官民問わず市民生活に必要な地域情報を発信する Web サイトです。自身の情報を登録しておく、と、興味関心のある地域情報がメール等で自動的に届きます。

欲しい情報は、インターネット等で自分で調べなければならない



自分の情報を登録すると…

自分が欲しい情報が自動的に届く！



今後も掲載する地域情報を拡大させていく予定です！



アクセスはこちらから→



お店・イベント等の地域情報募集中 お気軽にお問い合わせください。

問 有田市スマートシティ推進協議会 (CoDA) 事務局  
coda001@smart-arida.org  
総務課デジタル推進室 Tel 22-3745

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。 より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望を秘書広報課へお寄せください。